
輝きの先

+悠+

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

輝きの先

【著者名】

N4408D

+ 悠 +

【あらすじ】

泣いた…作られたこの体で…本当に好きなったのは君だけ。だからこそ離れることが悲しいんだ…

(前書き)

これは作詞作曲として作ったものですが、
中学生という立場であまり上手く行きません。
特に作曲には時間がすごくかかります…

本当は文章にも慣れていません…

ですがやっぱり書いてみたかったので書きました。
変な文章だと思いますがどうぞ読んでみてください。

泣いたよ だつて僕は好きだつたんだ
作られた体で頑張つて泣いたよ

本当の僕は何処にいるのかな：

そんなことを思いながら あの人のことを思いながら

本当の自分探しに出かけたよ 何処にいるのかな
早く見つからないかな そんなこと思いながら歩き回つたんだよ

偶然が生んだ奇跡 それは素敵なんだね
どうして気付かなかつたのかな こんなにも近くに
自分を必要としてくれる人がいたのに
自分を殺してまで愛した人が居たんだよ
近くにいる「お前が必要だ」って言葉、本当は気付いていなかつた
本当の愛と言う感情を知らなかつた自分が
本当の愛と言う感情を探しに出たんだよ

いつもと変わらぬ景色 風景 人 道 見飽きたな
どうしてもつと楽しい事が無いのかな

もつと弾け出して自分を輝かせてみたい
周りの皆はもうすでに輝いている

自分で輝かない： かなしいなあ

みんな誰かのために生きてる そんなことがうらやましかつた
そしてついに見つけたんだ君という素敵な人を

偶然が生んだ奇跡 ノノにあつたんだよ

そして本当の自分も見つけたんだよ

口々に居たんだ ずっと前から何年も前からずつとずつと前から

出会いは偶然 偶然が生んだ奇跡なんだよ
だからこそ君は輝いてた 違うかい？

いやそのはずだよ 誰かが輝く時 それはなんでもない…
君が誰かのために生きよう そう感じた一瞬
その時から君は輝き始めるよ

泣いたよ だつて僕は好きだつたんだ
作られた体で頑張つて泣いたよ
本当の僕は何処にいるのかな…
そんなことを思いながら あの人のことを思いながら

今でもずっとずっとこれからもずっと
きっとこれからは今以上に輝き続けるんだと思つた

(後書き)

今回は読んでいただきありがとうございました。
本文の意味が分からなかつたところがあつたと思います。
それなのに読んでいただき感謝しています。
もしよければ、自分が書いてる他の詩や小説も読んでみてください。
本当にありがとうございました。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4408d/>

輝きの先

2011年1月16日06時01分発行